

小児腎臓病専門施設への紹介基準  
—尿蛋白／クレアチニン比 0.15—

「小児の検尿マニュアル」では、3歳以上の尿蛋白／クレアチニン比の基準値上限を 0.15g/gCr としました<sup>1)</sup>。それ以上を異常と考えて、3歳検尿においても学校検尿においても小児腎臓病専門施設への紹介基準を変更しました。

これまで、KDOQI のガイドラインを採用して、0.2g/gCr を基準値上限としてきましたが、今後は 0.15g/gCr に統一しますので、現場で混乱の無いようにお願いいたします。

詳細は検尿マニュアルのフローチャートなどを参考にしてください

- 1) 本田雅敬: 効率的・効果的な乳幼児腎疾患スクリーニングに関する研究 (H24- 特別・指定 -016) 平成 24 年度 厚生労働科学特別研究. 総括・分担研究報告書 (研究代表者: 本田雅敬)  
(<https://mhlw-grants.niph.go.jp/niph/search/NIDD00.do?resrchNum=201205032A>) [閲覧日 2015.7.19]

日本小児腎臓病学会・理事長  
高橋昌里  
同・小児 CKD 対策委員会・委員長  
上村治  
「小児の検尿マニュアル」編集主幹  
本田雅敬  
松山健